

手話スピーチ動画の撮影について

1. 表現の方法

学校名・名前・タイトルを言い終えてから、手話スピーチに入ってください。
各自が申し込みの際に選択した「手話と音声」「手話のみ」のいずれかに沿って、弁論原稿の内容を表現してください。弁論原稿をもとにした、手話による4分以上6分以内のスピーチ動画のうち、前半の2分以上を撮影して提出してください。

2. 撮影時の留意点

- ①画面には上半身・起立・正面を写し、手話・指文字の動きが読み取れるように撮影してください。また、手話の手は画面の下側にならないよう撮影ください。
- ②本人と背景のコントラストが出るように注意してください。
*審査をする際、手話が読み取りやすいよう、服装や背景、照明などに留意してください。
(照明には特に気をつけてください)
- ③FULL HD以上の画質で、必ず横向きで撮影してください。
スマートフォンの場合インカメラではなく、アウトカメラをご利用ください。

→撮影時は右の図のような位置で撮影してください
※頭の上に少しスペースをとる
※腰から上を撮影



3. その他

- ①撮影機材はビデオカメラやスマートフォンなど、学校または自宅にあるものを使用してください。
- ②動画のファイル名を必ず「学校名+氏名」にしてください。(例 ○○高校 朝日太郎)
- ③提出された動画に「弁論原稿」の手話表現が映っていなかったり、正しく録画されていなかった場合は審査の対象外となります。
必ず正しく録画されているか担当教諭とご確認の上、アップロードしてください。

以上

《お問い合わせ》

朝日新聞厚生文化事業団
「手話スピーチコンテスト」事務局
TEL : 03-4233-1191 (平日10:00~18:00)
メール : asahishuwa@newsbase.co.jp